

プログラム

特別講演 1 7月30日(金) 14:30～16:30

A会場(スノーホールA)

座長：相場 恵美子(新潟大学脳研究所 脳神経外科教室)

コミュニケーション障害対応のユニバーサルデザイン —思春期・青年期の支援に向けて—

小栗 正幸 特別支援教育ネット 代表

特別講演 2 7月31日(土) 10:00～12:00

A会場(スノーホールA)

座長：立入 哉(愛媛大学 教育学部)

後進、若手、初学者を見守り、育てていくための教え方

向後 千春 早稲田大学人間科学学術院 教授

教育講演 1 7月30日(金) 9:50～11:50

A会場(スノーホールA)

座長：岡本 浩一郎(新潟大学脳研究所 トランスレーショナル研究分野)

[コミュニケーションの脳画像]

小児分野

先天性症候群にみられる行動発達特性の脳神経基盤： プラダー・ウィリ症候群を中心に

山田 謙一 早川小児科クリニック 副院長

成人分野

コミュニケーションとその障害を理解するために必要な脳画像 —成人編—

長谷川 仁 新潟大学医歯学総合病院 脳神経外科 講師

教育講演2 7月30日(金) 13:00～14:30

B会場(スノーホールB)

座長：渡辺 正代(新潟脳外科病院 リハビリテーション科)

農福連携、その先へ

真保 若葉 農園 CuRA! (チュラ) 代表
農福連携 自然栽培パーティ 新潟代表

シンポジウム 7月31日(土) 14:10～16:10

A会場(スノーホールA)

座長：島田 久幸(新潟県福祉保健部 障害福祉課)

[支援をつないでいくこと]

S-1 小児科医療の現場から

新潟県はまぐみ小児療育センター 小児科 福島 愛

S-2 乳幼児健診・療育の現場から

多摩市立健康センター 本多 幸子

S-3 坂城町の子育て支援のシステム ～5歳児すくすく相談の取り組み～

長野県坂城町立南条保育園 関 運平

S-4 関係機関とのよりよい連携をめざして ～特別支援教育の現場から～

福島県立聴覚支援学校 会津校 佐藤 貴子

S-5 入所施設の現場から

社会福祉法人かながわ共同会 津久井やまゆり園 心理担当 永井 真司

分科会 7月30日(金) 16:40～17:40

結の部屋(2F 中会議室201)

言語発達障害研究分科会

特別企画

特別企画1 7月30日(金) 9:40～14:10

結の部屋(2F 中会議室201)

[コミュニケーション支援のためのリソース紹介]

異文化とコミュニケーション

イーエン メギール (青陵大学)

トラウマとコミュニケーション

名和 淳 (新潟県立精神医療センター)

親子の関係性とコミュニケーション ～児童相談所での相談支援活動を通して～

五十嵐 哲朗 (山形県福祉相談センター)

話を聴くということ

木村 博子 (元スクールカウンセラー)

認知行動療法入門

後藤 実 (新潟信愛病院)

特別企画2 7月31日(土) 9:50～14:10

結の部屋(2F 中会議室201)

[コミュニケーション支援のためのリソース紹介]

失語症者の地域での支援

坂井 道子 (言語生活サポートセンター)

身体表現性障害(ヒステリー)にみられる身体症状の意味と扱い方

小野田 明 (長岡西病院)

能動的な音楽鑑賞をするミュージック・ケア

平 美江 (新潟わたげの会ミュージック・ケア研究会)

一般演題(口頭発表)

第1日目 7月30日(金)

語りの力 13:00~13:50

A会場(スノーホールA)

座長: 青木 さつき(東京医療学院大学 保健医療学部)

- 1A-01** 自閉スペクトラム症幼児の「お話作り」における発話連鎖の特徴(その2)
— 一定型発達幼児との縦断的比較 —

東京学芸大学大学院連合学校 教育学研究科 溝江 唯

- 1A-02** ナラティブを用いた学習言語の試み
— オンライン形式での指導実践の報告

新潟大学 教育学部 入山満恵子

- 1A-03** 気持ちの表現が困難な学齢児への指導経過
— 4コマ漫画を教材として —

ブロッサムジュニア 若葉台 辰巳 朝子

- 1A-04** 長期間の治療的介入により症状の改善傾向を示した
青年期の場面緘黙の事例

長野大学 社会福祉学部 高木 潤野

- 1A-05** 当事者性と専門性の2つの立場性を生きる援助専門職の
ライフヒストリー: ADHD 当事者の語りの SCAT による分析

関西福祉科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 工藤 芳幸

ASD トピックス 13:55~14:25

A会場(スノーホールA)

座長: 黒崎 芳子(北海道医療大学 リハビリテーション科学部)

- 1A-06** 能動的触覚による形態認知の障害を呈した
成人自閉スペクトラム症の1例

名古屋大学医学部附属病院 親と子どもの心療科 小川 七世

- 1A-07** 自閉症スペクトラム児の知的能力と睡眠の関係についての検討

金沢大学 LIU JIALU

- 1A-08** ASD 児者を対象にしたオンライン TRPG の実施の
メリットとデメリット: 質問調査に基づくパイロット研究

金子総合研究所 加藤 浩平

座長：目黒 文(新潟県厚生連 長岡中央総合病院)

1B-01 視覚失認、視覚失語、失読を呈し復職に至った一例

社会医療法人桑名恵風会 桑名病院 リハビリテーション部 柄澤 明子

1B-02 復職支援を受けた失語症のある人の自己評価
—パイロット版 Assessment for Living with Aphasia (ALA) を用いて—

社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団 諸岡 雅美

1B-03 失語症者の就労を促進する要因の分析

医療法人社団保健会 東京湾岸リハビリテーション病院
リハビリテーション部 言語聴覚科 大平 佳奈

1B-04 地域支援事業における高次脳機能障害者の復職後支援について

フリーランス 藤森 美恵

座長：坊岡 峰子(県立広島大学 保健福祉学部)

1B-05 進行性失語が疑われた1例
—発症初期の失語症状をどう捉えるべきか—

東京都立墨東病院 リハビリテーション科 杉山 貴子

1B-06 重度ブローカ失語症1例に対する50音表を用いた発語訓練

千葉県千葉リハビリテーションセンター
リハビリテーション治療部 言語聴覚科 山本小緒里

1B-07 在宅失語当事者の意思決定支援における Talking Mats™ 日本語版の有用性
—目標設定場面での検討—

北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻 市川 勝

1B-08 失語症者の遠隔コミュニケーションについて
—ビデオ通話を利用したオンライン会の検討—

愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院 リハビリテーション室 内木麻莉子

座長：大井 学(金沢大学子どものこころの発達研究センター)

- 1B-09** 就学前児の結晶性知能に影響を与える知能因子の探索
社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター 梅津直比古
- 1B-10** 子どもの語用能力評価法「ことばのつかいかたテスト」の
判別性能及び認知能力との関連の検討
大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・
千葉大学・福井大学 連合小児発達学研究所 水谷 柳子
- 1B-11** 商品のネーミングにおける音象徴の検討
IMS グループ 医療財団法人明理会 イムス富士見総合病院 伊原 実優
- 1B-12** 日本人大学生を対象とした英単語書字テストの結果と一考察
北里大学大学院 医療系研究科 上岡 清乃
- 1B-13** 健常高齢者における生物・非生物領域間の意味知識構造の相違
県立広島大学 津田 哲也

座長：川合 紀宗(広島大学大学院 人間社会科学研究科)

- 1B-14** 通常学級に在籍する低出生体重児の聴こえの困難の実態
上越教育大学 臨床・健康教育学系 小林 優子
- 1B-15** 新型コロナウイルス下における
聴覚障害特別支援学校乳幼児教育相談の現状
東北福祉大学大学院 教育学研究科 佐藤 大地
- 1B-16** 小学校高学年の授業における
聴覚障害児への遠隔情報保障導入の効果と課題
九州大学 基幹教育院 下中村 武
- 1B-17** 共生社会の形成に向けた難聴児への情報保障支援の検討：
周囲の児童による音声認識技術への認識結果から
つくば市立竹園東小学校 奥沢 忍

第2日目 7月31日(日)

他職種との協働 9:00～9:50

A会場(スノーホールA)

座長：大伴 潔(東京学芸大学 特別支援教育・教育臨床サポートセンター)

- 2A-01** 気管切開児の地域生活における実態およびスピーチバルブの効果に関する検討 — アンケート調査からの分析 —

埼玉県立小児医療センター 遠藤 俊介

- 2A-02** 保育園での気になる幼児への動作法のアプローチ
～自己コントロール力を身につける～

尚絅学院大学 心理学類 三好 敏之

- 2A-03** 小中学校特別支援学級を担当する教員の言語聴覚士に対するニーズ調査

北里大学大学院 医療系研究科 佐々木ゆり

- 2A-04** 個別の教育支援計画及び指導計画の活用と作成の視点の検討

金沢大学 子どものこころの発達研究センター 田中 早苗

- 2A-05** 包括的モデルを活用した保育による発達障害児の遊びの「安心度」「夢中度」の変化

新潟青陵大学 福祉心理学部 社会福祉学科 齊藤 勇紀

吃音への支援 13:20～14:00

A会場(スノーホールA)

座長：佐藤 友哉(新潟大学 人文社会科学系)

- 2A-06** 8週間のガイド付きの簡易型マインドフルネス瞑想訓練が、吃音のある成人の日常生活場面に与える影響

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 灰谷 知純

- 2A-07** 吃音に伴う過去のネガティブな記憶に対し
ブレインスポッティングを適用した一事例

新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚学科 石本 豪

- 2A-08** テキストマイニングによる吃音者と非吃音者における
コミュニケーションの認識の比較

川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科 飯村 大智

2A-09 吃音のある幼児の保護者が行う援助希求行動と支援提供の実態：
支援体制確立に向けて

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 酒井奈緒美

右半球症状 9:00～9:30

B会場(スノーホールB)

座長：杉山 貴子(東京都立墨東病院 リハビリテーション科)

2B-01 右視床出血1例の計算の誤りに対する検討

社会医療法人桑名恵風会 桑名病院 相馬 有人

2B-02 左半側空間無視患者の縦書き文の読みに改行位置が与える影響

国際医療福祉大学病院 リハビリテーション室 木村 和紗

2B-03 右半球損傷によるコミュニケーション障害のある人の談話特徴の抽出：
日本語版 MCA を利用して

日本医科大学付属病院 リハビリテーション室 矢頭 瞳

吃音の理解 9:35～10:15

B会場(スノーホールB)

座長：渡辺 時生(東京工科大学 医療保健学部)

2B-04 助詞の繰り返しによる非流暢性発話が顕著な自閉スペクトラム症児2例

熊本保健科学大学 保健科学部 井崎 基博

2B-05 発吃と吃音症状の予後に関わる発達の・体質的要因の調査
—川崎西部地域療育センターの例を通して—

社会福祉法人青い鳥 川崎西部地域療育センター 横山 智子

2B-06 小学校高学年以降の吃音児に吃音の説明・開示の力をつける指導について

近畿大学病院 リハビリテーション部 久保田 功

2B-07 吃音のある小学生に対する多面的・包括的支援
—ことばの教室における実践—

府中市立住吉小学校 高橋 三郎

座長：久保田 功(近畿大学病院 リハビリテーション部)

2B-08 座位および臥位による呼吸と発声の特徴についての検討

目白大学 保健医療学部 言語聴覚学科 松本かおり

2B-09 健常児における構音機能と言語機能との関係性について

聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 言語聴覚学科 中村 哲也

2B-10 対面式とオンラインを併用した側音化構音1例の訓練経過

帝京平成大学 健康メディカル学部 佐藤亜紀子

2B-11 構音障害児の聴覚音声系言語学習能力を向上させることば遊び

高知リハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部
リハビリテーション学科 言語聴覚学科 武内 和弘

2B-12 ABA(応用行動分析)とSTによるASD児への構音の獲得訓練

児童発達支援事業所 マママとまママ 林 文博

座長：工藤 芳幸(関西福祉科学大学 保健医療学部)

2B-13 幼児期の動詞の獲得について
—空間を示す名詞と移動を示す動詞の理解—

上智大学大学院 言語科学研究科 言語学専攻 言語聴覚研究コース 高橋さやか

2B-14 大人のことばかけが幼児の言語発達に与える影響
—インリアル・アプローチを用いた分析—

医療法人社団永生会 南多摩病院
国際医療福祉大学 成田保健医療学部 言語聴覚学科 平山 響子

2B-15 発達障害児における音象徴理解と感覚処理の関係性

国際医療福祉大学 成田保健医療学部 言語聴覚学科 佐々木香緒里

2B-16 ダウン症者における音韻意識 —10代を中心に—

上智大学大学院 言語科学研究科 言語聴覚コース 深津 紗希

座長：高橋 圭三(新潟リハビリテーション大学医療学部)

- 2B-17** 聴覚障害児の抽象語理解
—感情語・感覚語・オノマトペに焦点をあてて—
東京都立大泉特別支援学校 梶野 葵
- 2B-18** 自閉症スペクトラム障害を伴う難聴児の視線
—身振りと表情をどう合致させるのか—
福岡国際医療福祉大学 言語聴覚専攻科 平島ユイ子
- 2B-19** 聴覚障害児の談話の特徴と視線の特徴の関連について
都立大塚ろう学校 岩田能理子
- 2B-20** 中国における聴覚障害学生の就職意識に関する調査研究
広島大学 人間社会科学研究科 教育科学専攻
教師教育デザインプログラム 楊 丹
- 2B-21** 有料老人ホームにおいてケアに従事する職員のきこえと
支援に対する意識
在宅ケアサポートみちくさ 石田 彩